

本当に
怖い

非定常作業のおはなし

非定常作業とは年末の大掃除や設備点検など、めったに行わない作業のことを指します。いつも行っている定常作業と比べてケガをしやすい分、十分な注意が必要です。今回は非定常作業でケガをしやすい理由と注意点についてのおはなしです。

● 定常作業と非定常作業の違い

定常作業（慣れている作業）

- 手順や発生のタイミングに変化がなく
日常的に発生する作業
- ▶ 毎日の清掃
 - ▶ 商品の検品作業、梱包作業

非定常作業（慣れていない作業）

- 発生頻度が低く、毎回異なる対応が必要な作業
- ▶ エアコンのフィルターや棚上の清掃
 - ▶ 機械故障時の部品交換作業

● 非定常作業はなぜケガが多いのか？

1 経験不足によるもの

非定常作業は普段行わない分、手順を十分に理解できていないことがあります。そのため見落としや思い込みによる手順間違いが起こりやすく、ケガにつながる場合があります。

2 焦りによるもの

非定常作業は手順がないものや急なトラブル対応も多くあります。そのため作業遅れに対する焦りが生じやすく、注意力の低下からケガにつながる場合があります。

非定常作業時に注意すること

- ①事前に作業手順を確認し、作業指示に従う
- ②少しでもわからないことがあれば、その都度確認する
- ③トラブル3原則（※）を守り、無理に1人で行わない

※トラブル3原則とは？

作業を
止める



責任者を
呼ぶ



指示を
待つ



非定常作業を行うときは、いつもより特に慎重に行動しましょう。
少しでも危険を感じたときは作業を止める勇気も大切ですよ！

★今月の安全衛生川柳 ~ 「過去に経験したから大丈夫」と過信して確認を怠るとケガにつながるので危険です。

大丈夫 軽い気持ちが 大惨事

(滋賀支店 スタッフさんの作品)